

**テセントリク+アバスチン療法**

患者番号:                    氏名:                    性別:                    年齢:

がん種 (適応)	肝細胞癌		
開始年月日	年	月	日
1 コース期間	21 日間		
体格	身長	cm	体重                    kg                    体表面積                    m <sup>2</sup>
嘔気・嘔吐リスク	軽度	制吐剤	グラニセトロン注
特記事項	<p>※1 アバスチンの投与時間は初回 90 分、問題なければ 2 回目の投与は 60 分、3 回目以降は 30 分と短縮することができる</p> <p>※2 テセントリクの投与時間は初回 60 分、2 回目以降 30 分</p>		

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール
テセントリク	1200mg (mg/body)	※1	Day1
アバスチン	mg (15mg/kg)	※2	Day1

**【処方が必要な内服薬】**

- HBs 抗原(+) → **消化器内科紹介**
- HBs 抗原(-) → □HBs 抗体(-)and HBc 抗体(-) → □HBV-DNA 定量(-) → 3 ヶ月毎 定量
- HBs 抗体(+ )and/or HBc 抗体(+ ) → □HBV-DNA 定量(+ ) → **消化器内科紹介**

**指示医師サイン** \_\_\_\_\_

		免疫チェックポイント阻害薬 副作用対応連携シート					
副作用	主な自覚症状	検査項目	ペーシング (投与開始 時) 〇実施	モニタリングの目安	専門医へのコンサルのタイミング		
間質性肺炎	発熱、空咳、息苦しい、息切れ	胸部X線	〇	投与時	左記の自覚症状発現の場合、左記検査項目の異常が認められた場合には、直ちに相談ください。		
		胸部CT	〇	疑い時			
		KL-6、SP-D	〇	2か月毎に2回			
内分泌障害	甲狀腺機能低下症：身体がだるい、体重増加、徐脈、便秘、食欲低下など 甲狀腺機能亢進症：汗をかきやすい、体重が減る、甲狀腺のはれ、胸がドキドキする、手の震え、不眠、発熱、下痢、振戦、食欲低下 副腎機能不全：身体がだるい、意識がもうすがる、考えがまとまらない、嘔吐、むくみがある、食欲不振、低血圧、脱力感 副甲狀腺機能低下症：手足の筋肉の痙攣、手足口の周りにほしひれ	抗チロトロピン抗体 抗POH抗体 TSHセロウ-抗体 PTH	〇	疑い時	【甲狀腺】 症状出現（倦怠感や動悸など）、TSH・FT3・FT4に異常が認められた際、TSHセロウ-抗体、抗チロトロピン抗体、抗POH抗体を1回測定し、自己抗体陽性で症状発現時はコンサルト 【副腎】 ACTH-コルチゾールを測定した際、コルチゾール低値の場合にコンサルト		
		ACTH、コルチゾール	〇	月1回			
		排便回数	〇	投与時			
		腹部CT 大腸内視鏡検査	-	疑い時			
		CRP	〇	投与時			
大腸炎 重度の下痢	下痢（軟便）もしくは通常より排便回の増加、血便もしくは黒くターム便で粘着質の便、重度の腹部痛もしくは圧痛 重症筋無力症：上まぶたが下がる、物がだぶつて見える、飲み込みにくい、しゃべりにくい、呼吸困難 筋炎：身体が力が入らない、発熱、飲み込みにくい、息苦しい、発疹、筋肉の痛み	HbA1c グリコアルブミン 血糖 検尿（尿ケトン体） Cペプチド	〇 〇 〇 -	月1回 疑い時 投与時 疑い時	目下下がる（眼線下垂） 飲み込みにくい（嚥下障害） 症状発現時 あるいは、CRP1000IU/L以上の場合にコンサルト		
		1型糖尿病	糖尿病：身体がだるい、体重減少、のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増える 糖尿病性ケトアシドーシス：意識の低下、悪心、嘔吐、腹痛	〇 〇		疑い時 投与時	
		皮膚障害	湿疹、かゆみ	〇		投与時	Grade2以上の皮膚障害
		肝障害	倦怠感、黄疸、嘔吐、嘔気、食欲不振、そう痒感	AST、ALT、γ-GTP ALP、T-Bil、D-Bil LDH HBs抗体、HBc抗体 HCV抗体		〇 〇	投与時 投与時
心血管障害	心不全、心筋炎、心房細動、深部静脈血栓	PT、APTT フィブリノーゲン 心筋トロポニンT NTproBNP Dダイマー、FDP	〇 〇	疑い時	左記の自覚症状の発現、又は検査値の異常時にコンサルト		
		心エコー 心電図	〇	投与時			
その他	充血、霧視、羞明、眼痛	Na、K、Cl、Ca、P TP、ALB、UA AMY、BUN、Cr 血球算定（CBC） Hγグロブリン	〇	投与時	左記の自覚症状が発現した場合にコンサルト		
※検査オーダーは検査センター統合センターを作成していますので、そちらより使用してください							
死亡例が報告されています。早急に専門医へのコンサルトをお願いします							